

岡谷市

夢&再生プラン 2023

地域振興政策提言シリーズ①

「岡谷スマート交通ステーション」

の設置に関する提案書



リベラル政治団体 **虹の会**

主宰 **藤森 弘** 編著

事務所 〒394-0082 岡谷市長地御所二丁目9-14

TEL: 090-3566-6086

Mail: selfnet777@ymail.ne.jp HP: <http://niji777.net>

(1) 「岡谷スマート交通ステーション」とは何か

「岡谷スマート交通ステーション」とは、岡谷市の次世代公共交通機関の要となる中心施設のことです。また、「スマート交通」とは、AI（人工知能）やICT（情報通信技術）など最先端技術を用いた新交通システムのことで、AIによるタクシー自動配車システム、GPSを搭載したバスの運行ルートや現在位置がスマホ画面で即座に確認できるシステム、オンデマンド（事前予約制）方式の乗合タクシー運行システムなどを意味します。

(2) JR 岡谷駅周辺開発の必要条件

岡谷駅周辺の再開発は、次の各要件を満たしたプランである必要があります。

- ① 岡谷市の玄関口として、外来客向けの交通手段として多様な選択肢があること。
- ② 市内を循環する交通システムのハブターミナル機能を有し、乗り継ぎが容易であること。
- ③ 正面出口においては、巨大な商業ビルが童画館通りや中央通りへのアクセスを遮断して商店街への客足を遠のかせていた点を反省し、周辺商店街の活性化を促す集客機能を果たすこと。
- ④ 南口出口においては、大規模な駅近駐車場を確保する一方で、健康長寿や新産業創造に役立つ国や県の施設、民間企業の誘致が可能な拠点であり続けること。
- ⑤ 市の財政難を考慮して、国や県からの補助金が受けやすく、建築費や維持コストを最小限に抑えられるプランであること。
- ⑥ 諏訪湖サイクリングロードを始めとする市内観光地への誘客が図れる拠点であること。

(3) JR 岡谷駅前ララオカヤ跡地の利活用方法（案）

ララオカヤ跡地の利活用プランとして、**大型駐車場を兼備した「岡谷スマート交通ステーション」**の設置を提案。

「岡谷スマート交通ステーション」の内容

- ① シルキーバスターミナルの建設・・・ハブ機能の充実によって市内全域へのバスの乗り換えがスムーズになるはず。モデルとして「伊那バスターミナル」への視察を推奨。
- ② 建屋内に「ふくしーAI自動配車サービスセンター」を設置。これによって、個人利用からグループ利用（乗合）が可能になり、最適ルートが瞬時に判明することで運行効率が飛躍的に高まる。
- ③ オンデマンド（事前予約制）方式の「シルキー観光バス」および「シルキー乗合タクシー」を新設。これによって、例えば定時運行のシルキーバスで病院に行き、帰りは診療終了後にシルキー乗合タクシーを予約して同方向地域の通院患者とともに帰路につくことができる。ま

た、観光目的の団体客（市内周遊ツアー）などに柔軟に対応することができ、収益性が大幅にアップする。

- ④ 大型有料時間貸し駐車場を併設。例えば、2時間まで100円、5時間まで300円、12時間まで500円、24時間で800円などに料金設定。近隣商店街への買い物客の誘客を図れるのと同時に、首都圏への高速バスや特急列車利用者には自家用車で駅まで来て帰ることができ利便性が大幅にアップする。また、自家用車で駅前に集合して駐車場に入れ、シルキー観光バスに乗り換えて観劇ツアーやプロスポーツ観戦ツアーに出かけるなどの活用方法が生まれ、“住んで楽しい岡谷”への足掛かりができる。市内に若者の遊ぶ場所が少ないのが不評ならば、市外に遊びに出かけやすい交通体系を用意すれば良いのではないか。また、駐車料金収入で建屋の管理維持コストも確保でき一石二鳥である。
- ⑤ 諏訪湖サイクリングロードへのロードマップ大掲示板設置。建屋内案内所で諏訪湖へのアクセスロードMAP配布。
- ⑥ 童画館通り&イルフプラザ&中央通りの名店案内マップ大掲示板設置。建屋内案内所で周辺名店案内パンフレット配布。
- ⑦ 建屋内案内所で“うなぎのまち岡谷”名店MAP配布。
- ⑧ 建屋内案内所で各種自転車レンタル受付。
- ⑨ 建屋内に名産品&地場産品直売所設置。
- ⑩ “岡谷味噌”ラーメンの開発と販売・・・など。これはステーションで食べてもらうのではなく、近隣の食堂関係の皆様“岡谷味噌”を使った様々な新メニューを工夫してもらって、その食べ歩きMAPを作ったらどうかという話です。例えば、岡谷味噌田楽、岡谷味噌五平餅、岡谷味噌の山賊焼き、岡谷味噌豚丼、岡谷味噌餃子・・・。要するに、この機会に“岡谷味噌”を岡谷市の新ブランドにしたい訳です。

（4）JR 岡谷駅南口区画整理用地の利活用方法（案）

ララオカヤ跡地だけでは駐車場面積が不足すると思われるので、こちらにも同様の有料時間貸し駐車場を設置した方が良いでしょう。そのうえで、こちらは地主に徹して好機を待つしかありません。

誘致候補としては・・・。

- ① 重粒子線医学研究センター（信州大学医学部附属病院の新拠点&信州大学医学部サテライトキャンパス）の誘致。がん治療の最前線は日進月歩であり、重粒子線治療装置の小型化や量子メスなどの開発が進む先進医療の拠点を岡谷に迎え入れたいところ。術後管理を岡谷市民病院が引き受けるなど提携して対応すれば岡谷市民病院の患者確保と経営の安定化にもつながる。岡谷市は首都圏、名古屋圏との交通アクセスが良い“地の利”があり、緑と湖に囲まれた美しい自然環境を有する土地で療養したい人は多いのではないか。国としても各都道府県に1カ所は重粒子線治療施設を配備したい意向（？）のようなので、早く手を挙げたもの勝ちであり、岡谷駅隣接の一等地を売り込んでみる価値はあると思われる。

※群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学研究センターへの視察を推奨

- ② アニメ制作専門学校+アニメ制作会社の誘致。アニメは今や日本の主要な輸出品の一つになった感がある。新産業創造の観点から、童画の素地がある岡谷にアニメ制作の専門学校や制作会社があったらいいな、と素直にそう思う。若者が闊歩するまちづくりの一端にもなる。この件は、無理に駅周辺でなくとも、統廃合した公共施設や学校を有効活用する方向で検討するのも一考か。
- ③ ゲームソフトやコンピュータ・プログラミング開発企業向け事業テナントの誘致。岡谷市に足りないものとして事業向けテナントがある。スタートアップ企業はテナント料の高さに苦しんでいるところが多く、新産業創造の拠点整備として事業者向けテナントビルが欲しい。ただ、建設費や維持コストを考えると「市営」はリスクが高過ぎるので、民間関連会社の自社ビル建設話か不動産関係者のテナントビル建設話があるのをじっと待ちたい。

良い話があるまでは、地主に徹して駐車場にしておく方が無難か…。

(5) 財源調達方法

今回の提案に類する国庫補助事業は以下の通り。

- (1) 未来技術社会実装事業（内閣府）
- (2) 地域課題解決のためのスマートシティ推進事業（総務省）
- (3) 地域新 MaaS 創出推進事業（経済産業省）
- (4) 日本版 MaaS 推進・支援事業（国土交通省）
- (5) 国土交通省スマートシティ実装化支援事業（国土交通省）

令和5年度 スマートシティ事業合同審査の採択結果は以下のリンク参照

https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/pdf/230724_bessi3.pdf

皆様の御意見、御提案をお待ちしています。